



『教育活動診断アンケート』（令和元年度を振り返る） 〈 児童編 〉

令和元年度の本校における教育活動の教育診断評価の一つとして、1月中旬に『教育活動診断アンケート』を児童・保護者ともに、全数で調査（児童：3年生以上の結果を集計）しました。皆様のご協力に感謝します。調査の項目内容は、昨年度実施したのと同じです。昨年度の結果と比較しながら、本校の教育活動を振り返りたいと思います。

【 児童のアンケート結果 】

本校では昨年度から、それぞれの学期の終わりに『教育アンケート』を実施していますが、その柱は、①「学校へ行くことが好きか」②「授業は分かりやすく楽しいか」③「自分が困ったときに相談する先生や友だちはいるか」の3点です。そうした観点を中心に検証してみたいと思います。



まず、「学校へ行くことが好き」「授業は分かりやすく、楽しい」「自分が困ったときに相談する先生や友だちはいるか」の3点については、昨年度とほぼ同率ながら肯定的な回答（A+B）の割合が83%~95%と高い値を示しています。特に、「授業は分かりやすく、楽しい」の肯定的な割合が昨年度から7ポイント、3年前から12ポイントも上昇しており、授業を受ける側の児童が授業に集中し、真剣なまなざしで授業に取り組んでいる証拠であり、児童の学校生活が充実していることが最大の要因ではないかと思えます。この一年、教える側の先生、教わる側の児童、それぞれの頑張りや努力の成果が見られました。そして、「自分が困ったり悩んだりしたときに、相談できる先生がいる」「自分が困ったり悩んだりしたときに、相談できる友だちがいる」の2つの項目についても、83%~89%と高い値を示しています。本校は、若い担任の先生が多いわけですが、担任する児童たちに対して真剣に向き合い、理解しようと努力している成果ではないかと考えています。また、「部活動やクラブ活動、学級の係活動への積極的な取り組み」の項目については、3年連続で上昇しています。これも児童数急増期に合わせ、互いを理解し合い、一人一人を大切にする学級づくりや部活動指導を進めてきた成果ではないかと思えます。今後も先生と子どもたちが力を合わせて、いろいろな問題を解決し、「一人はみんなのために みんなは一人のために」の精神を大切に、助け合いながら学校生活を送って行ってほしいと思います。



この一年の反省をもとに、来年度以降も主役である「常南っ子」全員のために努力を惜しまない教師集団でありたいと思います。
* 「校長先生の話はわかりやすく親しみが持てる」の項目も肯定的な回答が3年連続でUPし、96%の好評価を！ありがとうございます！

♥ Happy Birthday 2/11・川口 優月さん